

報道関係各位

2014年10月14日

「K-engineサービス」が経済産業省の 「平成26年度 中小企業等省エネルギー型クラウド利用実証支援事業」 の対象クラウドサービスとして登録

LIXILグループで住宅建築のITプラットフォームを提供する株式会社K-engine（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：喜久川政樹）は、当社が9月より提供を開始した住宅建築のプロセスをIT化する革新的なプラットフォームサービス「K-engineサービス」がこの度、経済産業省の定めた「平成26年度 中小企業等省エネルギー型クラウド利用実証支援事業」の“対象クラウドサービス”に登録されたことをお知らせします。

近年、インターネットの利用拡大、スマートフォン・タブレットの爆発的な普及などにより、社会全体で取り扱うデータ量が飛躍的に増加しています。一方で、データセンターなどの消費電力量は、日本全体の1%を超えているとされ、省エネ化の促進も切実な課題とされています。こうした状況の下、経済産業省では、「中小企業等省エネルギー型クラウド利用実証支援事業」を通じて、クラウドを活用したサービスの普及を促進することで、電力需給と省エネルギー対策を図ると同時に、BCP（事業継続計画）の向上、さらに日本のクラウドサービスの国際競争力強化を目指しています。

※「平成26年度 中小企業等省エネルギー型クラウド利用実証支援事業」の内容、及び消費電力量等の詳細については、執行団体である「一般社団法人環境共創イニシアチブ」のWEBサイトをご参照下さい。
（一般社団法人環境共創イニシアチブ <https://sii.or.jp/cloud26/>）

今回、同支援事業の対象クラウドサービスに登録されたことにより、今後も業界プロセスにイノベーションをもたらす画期的な「K-engineサービス」を通じて、省エネ性に優れたクラウドサービスの普及と、住宅建築業界の飛躍的な発展に貢献していきます。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 K-engine（<http://k-engine.jp/>）

本社：東京都新宿区新宿1-4-12 新宿御苑ビル8F

報道関係の方から：経営企画・管理本部 金康・寺内

TEL. 03 - 4335 - 6431

※このリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、経済産業記者会にお届けし、K-engine ホームページ（URL: <http://k-engine.jp/>）でも発表しています。